



# 桂に妹がきた。



## CHAPTER 1 キャンパス到着



明里：来たよ桂キャンパス！ 結構山の中にあるんだね。でも思ったより建物きれいでちょっとびっくりしちゃった。

俊也：ああ、2003年にできたキャンパスだからな。まだ15年くらいしか経ってないし。ってか、さらっと始まってんだけど、あの怖い連絡何！

明里：まあまあ、細かいことは気にしない気にしない。ところで地図に書いてるこの「クラスター」って何？

俊也：あー、それはキャンパスを区切るセクションだな。山の下から順にAクラスター、Bクラスター、Cクラスターって分かれてる。研究室があるのはAクラスターとCクラスターで、Bクラスターには事務室とか生協とかがある感じかな。ちなみに俺はAクラスターの研究室にいるよ。

明里：ふーん、そうなんだ。

俊也：まあこの山がちな地形だから、Aクラスターの4階からプロムナード（連絡通路）をまっすぐ歩くとBクラスターの1階とか2階に着くとかいう訳分かんないことが起こるんだけどね。

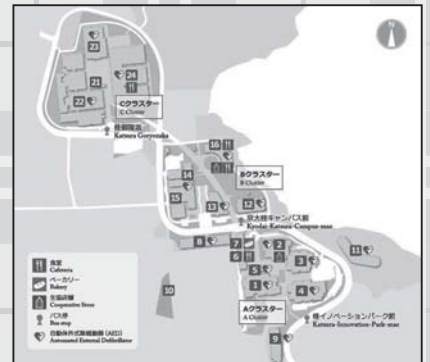
明里：なるほど、心霊現象ね。でもこんなに坂が急だと通学大変じゃない？ 今度来た時はお兄ちゃんのために私、家からソリ持ってくるね。

俊也：坂をエンジョイしようとするな。てかさすがにそこまで急勾配じゃねえし。

明里：じゃあ犬ソリにする？

俊也：犬どっから連れてくるんだよ。普通にこっち来てから電動アシスト付き自転車買ったし、バスも結構な頻度で走ってるから大丈夫だよ。

明里：なーんだつまんないー。



京都大学HP「桂キャンパス構内マップ」  
[www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map6r\\_k.html](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map6r_k.html)

## CHAPTER 2 お昼ごはん



明里：はい、せっかくだから作ってきたよ、お弁当。  
俊也：おおサンキュー。……って、なんでハートマークなんだ……？  
明里：なんかそれっぽいじゃない。まあ、この記事の執筆者男だから、このハート作ったのも……その、ね？  
俊也：メタ発言はやめろ。これのためにわざわざちっちゃいお弁当箱買ってきたとかバレたら執筆者泣いちゃうから。  
明里：ところでお兄ちゃん。普段のお昼ご飯はどうしてるの？ <sup>はんごうさいまん</sup>飯盒炊爨とか？  
俊也：お前は一回全桂民に殴られろ。うーん、普段は事前によく買ってくるか、Bクラスターとかの生協食堂を利用することが多いかな。ほらここ、山を下らないとほとんど飲食店ないし。ただ、雨の時とかは研究室に近いAクラスター内の生協ショップで済ませることもあるなあ。  
明里：なるほどー、生協が果たす役割は大きいみたいね。さすがだなー、すごいなー。  
俊也：下手なステルスマーケティングだなあ……。



▲Aクラスターにあるベーカリーカフェ『<sup>リュース</sup>Lune』  
手作りの焼きたてパンが食べられる



## CHAPTER 3 研究室



明里：へー、これが研究室の入ってる建物かー。研究室ってどんな感じー？  
俊也：うーん、まあ大学生活の拠点、って感じかな。  
明里：えーと……、どういうこと？  
俊也：吉田キャンパスで学部生やってた頃はあちこちの教室動き回ってたし、自習する時は図書館だったけど、こっち来てからはそういうのをほぼ研究室でやるからね。まあ俺の場合は好きな研究ができていりし、それなりに充実しているよ。  
明里：ならよかった、いやーわざわざ桂まで来た甲斐がありますよー。  
俊也：お前は俺の母親か。まあ巷じゃ「桂送り」なんて言われることもあるけど、そう悲嘆したものでもない俺は思うぞ。  
明里：そっかー。ところで彼女できた？  
俊也：……………。  
明里：ねえねえって。



To Be Continued……?